

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	文化記念プール等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	小倉南区田原五丁目1番2号等	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	九州林産株式会社		
	所在地	福岡市南区野間三丁目7番20号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業及び収支計画書、各種報告書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られたか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的とした施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られたか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
[所見]				
【利用人員】				
区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
管理棟会議室	47,082 人	13,310 人	14,973 人	1,663 人
プール	18,392 人	12,903 人	10,740 人	▲2,163 人
運動場	18,600 人	13,379 人	13,061 人	▲318 人
庭球場	25,196 人	20,220 人	17,534 人	▲2,686 人
計	109,270 人	59,812 人	56,308 人	▲3,504 人
目標	133,000 人	134,000 人	135,000 人	
要求水準	133,000 人	133,000 人	133,000 人	
※ ・・・評価対象年度				
【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館日数】				
＜屋外プール＞ R2 年度： 0 日				
R3 年度： 23 日（新型コロナ緊急事態宣言）				
＜庭球場＞ R2 年度： 39 日（新型コロナ緊急事態宣言）				
R3 年度： 93 日（ ” ” ）				
＜運動場＞ R2 年度： 39 日（新型コロナ緊急事態宣言）				
R3 年度： 93 日（ ” ” ）				
○利用者数の目標に届かず、また、ほとんどの施設で前年を下回る結果となったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により施設を休館したことが主な理由となっており、指定管理者の責任によるものではない				
○ノルディックウォーキング等のスポーツ教室や体操教室、料理教室など様々な自主事業を実施し、多くの利用者の参加があった。				
○インスタグラムやツイッター等の SNS を活用した情報発信を軸に、管理棟周辺フェンスへの自主事業 PR ポスターの掲示や、管理棟内掲示板への自主事業実績報告、地元団体イベントポスター等の館内掲示を継続し、施設行事の PR に努めた。				
○消毒液・体温計・二酸化炭素濃度測定器の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス				

ス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたと言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設利用について】

満足度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	85.0%以上	85.0%以上	85.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	94.7% (30.6%・64.1%)	95.7% (44.8%・50.9%)	94.5% (45.5%・49.0%)

【職員対応について】

満足度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	85.0%以上	85.0%以上	85.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	96.8% (41.2%・55.6%)	95.1% (49.1%・46.0%)	98.5% (59.4%・39.1%)

※ ・・・評価対象年度

- 施設利用・職員対応の満足度について、目標数値を上回り、高い評価を得た。
- アンケートで施設利用者の意見を収集・分析すると共に、日々の接客業務で得られた利用者の意見を社内で共有し、改善に努めた。
- 『文化記念公園だより』を4半期ごとに発行し、利用者へ最新情報を提供した。また、インスタグラムやTwitter、ブログを定期的に更新してこまめな情報提供を行った。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【維持管理経費】

(単位:円)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
委託料	7,794,044	6,028,000	5,235,692	▲792,308
修繕費	3,649,132	4,938,178	5,198,160	259,982
光熱水費	7,963,034	6,189,064	6,103,750	▲85,314
人件費	23,292,369	29,134,156	33,363,861	4,229,705
その他経費	7,028,596	6,839,091	6,640,447	▲198,644
合計	49,727,175	53,128,489	56,541,910	3,413,421
予算	51,012,016	54,851,000	56,549,000	

※ . . . 評価対象年度

- 再委託業者を再選定し、大幅な委託料の削減を実現した。
- 指定管理者独自の知見を活用し、薬剤投入やろ過のタイミングを調整することでプールの水質を大きく改善させた。これに伴い、水道使用量や薬剤使用量を削減し、光熱水費の削減を実現した。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位:円)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
文化記念庭球場	3,774,150	3,608,264	2,941,700	▲666,564
文化記念運動場	482,950	463,450	418,600	▲44,850
文化記念プール (管理棟含む)	4,262,045	3,514,889	2,850,586	▲664,303
①実収入計	8,519,145	7,586,603	6,210,886	▲1,375,717

区分	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
②減免額	6,344,240	5,118,800	4,065,520	▲1,053,280
③合計(①+②)	14,863,385	12,705,403	10,276,406	▲2,428,997

※ . . . 評価対象年度

- 緊急事態宣言等による休館日数の増加に伴い、収入減となった。
- 会議室の利用率を上げるための施策として、新型コロナウイルス予防接種会場に指定されたために一般利用できなくなった「曽根体育館」利用団体を受け入れ、当施設既存団体との利用調整を行い、より多くの利用者を受け入れた。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- プール、運動場、庭球場の責任者は経験者を配置した。夏場のプール開放では責任者の他に経験豊富な管理運営経験者を配置し、専門的な知見を充実させ安心安全なプール運営に力を入れた。
- プールスタッフ全員に対しての普通救命講習を毎年実施しているが、緊急事態宣言下で、消防職員による講習が出来なかったが、代替案として NPO 法人日本救急蘇生普及協会インストラクターの有資格者による講習を実施し、同日に安全教育として救命器具の取り扱い方や監視業務の研修なども実施した。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されたか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- 複数の団体利用が重なった場合、主催者と事前の調整を行い、現地で整理や誘導を行うなど動線を確保した。
- 貸出用の車いすの準備や、令和元年度開設した授乳室の開放、北九州市「赤ちゃんの駅」への登録を行い、利用しやすい施設づくりに努めた。
- 管理区域外の公園内施設についても利用者からの問い合わせを真摯に受け、関係部署と対応を行うとともに、自主的に朝巡回を行い事故の防止に努めている。
- ハザードマップを今年度用に更新し、日々の管理に役立て、緊急時や防災、防犯に備えた。また、緊急発生時フロー図やマニュアルも準備した。

【総合評価】

〔所 見〕

- ノルディックウォーキング等のスポーツ教室や体操教室、料理教室など様々な自主事業を実施し、多くの利用者の参加があった。
- 指定管理者独自の知見を活用し、薬剤投入やろ過のタイミングを調整することでプールの水質を大きく改善させた。
- 貸出用の車いすの準備や、授乳室の開放、北九州市「赤ちゃんの駅」への登録を行い、利用しやすい施設づくりに努めた。

〔今後の対応〕

- 今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。